は
15
17

うつほ物語　九五、九六

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

宇津保物語

[illegible]院 工

[illegible]下を

廿五

今板本十三の巻二

古本五の巻

は
30
17

貴

東京圖書館

和書門	和文類	別	一の一	4	三の冊
		函	架	號	

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

國ゆかりの二　廿五

伊東藏書

東京圖書館

故柳原分楚納本

山こりりはとしらろぐさなしもいとひろ見いり見しう
しきはしゆりしろくゆしきしろ山もみくさとな
ゆし。安こむ久そものなしかす。山いぬさといぬといふ
をのことをふさうすれよらぶへ。あらせくさうはと
ひてめれなしかして。ぞさるゆふ蓄にうちむまてだ
りしされは山こりりよろしかしこまり。さこえ給ことう
さりなし。ゆ川のりみられたやしとりれましとりと
しきこくこれゐ給ぬ。ゆ川つりまゐ給ひぬるんとて。山の
ゆうしいら。よろりへいうして。ゆりしきりしきひろりせ
そ。ゆゆりへはしろしのゆりりなととりいてこそのりし
りせ。ゆゆりへのくらこれはいとる。くさぐしうともあついね

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

よさせりがごとけなとてもしてしろうゆれかなまつ
よいまつ。まいれはきみさうきうしつくめしそへ
まつる。他うたりなとしたれりとにはもりことをもりて
まいまりとりさりして。山こをりれそしとりし。其れ
屋んの他乃。こきみよつうさつるなとめしあ何め給
て。はくたりのつうはまへはゆつれりはこそまのく
きましめしてものゝ音とをかれて。山風はりみられ
数さるいとはふれたてえこれをとらしなとをう
名書のかふあるにまるまつうこれうこのうこぬかさなら
きれふしのいとをうしきをとりて山ふしとはうつけ
まいるとてやすこむれかこはむりしれいさうれはあり

きふしをおくれたくやつらもこそつうやつらしかか
うなみちよりひさまいふしよりつぎさせしなを
ましかはしもまはうすつりてはてしふくもさふ
らひなまし物を。世の中にましらいそれどなふれいさ
こも行くぬふとなくくはうつ多さられとやうも
行なりとて
吹あ多つさそひしうの山ふく那くこ義ん
なかれしさ。山こをりふかふはなとく
岩風のふきあ多そうひもやりかゆう山れふしき
りやうひをうかふ。大将も
りしれのむうしれをとみまられたれしの

風もあらそはでしづかなるに、中納言の君
　　ふきとのそよろにてのこる海はなし
　　　よりけるかなたえだえしらべ
　　七夕のわかれを秋とおもへども
　　　あふよりほかのしらべとぞきく
　　　　律師
　　あふことをたなばたつめにかしつれば
　　　かささぎのはしわたすらん
　　　　中将
　　ふきとぢよ秋のしらべはことわりの
　　　あまつそらなるかささぎのはし
　　　　唱哥
　　ふきとぢよかぜのしらべにまかせたる
　　　あまつそらなるかささぎのはし
　　　　二谷
　　ふきとぢよかぜのしらべにまかせたる
　　　あまつそらなるかささぎのはし
　　　　九条
　　ふきとぢよかぜのしらべにまかせたる
　　　あまつそらなるかささぎのはし
　　　　栗

をまいりきてしたん山こりり
かつらの川いまはたひのくるしさにこもせらりそ
らいまなかれを大将
あてにくあるとらされかりもさらしそそれみの
をみもぬるまうやうせし中納言
人らは我そかつらの中なりしいまもまつねとえ
やはいくけり 雜歌
よ我くらめかうりとめし我分さに浴したひの
めにかつらつく中将
月まちひのをとりはあらなからかぬ物は袖
ゆそをかうなとの給つ おそひあし給ひて日やうく

和名抄初聲云朽
音力和反 阿不古 杖名也
伊物
なとりてくあつこか
たみよぬなんれ
もそしとむにむ
しぬる

られかそゆくかとれ かねかり山こそりのこまうれ名
のまうしなりせ いとさうらにてうして むさとこと物
せくかしいむまは大つりりぬかせく ぬれくあを見こ
あつくいまく いとぬかうりさせなかひ川ともよいぬい
まさせ さをそれいれそりさせてまうそ山つしとをめし
あのめく いぬさけくらせ かしひあ我をとつ
ねりさせ給へつましよひつこそ日と川山こそりにしそ
ゆうりさかふ あのまは せうらにちんのあしはあてを
まうをあうこみしく あつくのそらうなまつらしかひ
さしてうし この川かめなと よろ川のてうつくしいま
しうこそ あの川よは出かうつく一 かうりなくさよりら

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

まそよりのさうそくあやのさしぬなどはゆりのくあを
あやのしらとをなとして、きのあ紙ふりをそむすひ
つけたり
　雲まくて山色しのとりふきん人のよりの衣
はぬきうへにとそこのさうそく女このもいと
さらにしいまそまつりまふ、山こゝとりみそく
　よ紙をそしらけの衣はぬきうへはまさくは物も
こそぬりへとてたまつ里給ぬ、中納言はさぬあやを
いとのくらつはいまく、供奉のやうにゝところ
ちらうさそまつり、右大弁もいとれりしき物こそ
まつり給つしはまつりのをとなののぐかたいをと

こんくくさせ
金鼓ワニロナリ

しくよりちしめて、五月物をこそまつり給、中将
おもしみそめのさうそくこゝろさしぬき、ろろ
ほうはれうへのさぬ、ふてうのけさぐしたりふ
くさしくしふさうそくこゝろへはしのまうにけさ
のまうにをそのさうそく女二ちうりさうじのかれ
こなし給ふ、こまより和はんにまりせてゆりしろ
とくもかくてりのなとまつりて、又のひはのほろりを
のてうにをめつりあてうにも御繍経せさせえく
らさせなとし給ふ、そのよはとまりてとさ海うさ
海りあそひ給ふ、山こりり大将はきあし給ひし一
栗とのに侍人のたまりなまふくはめるしをみ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

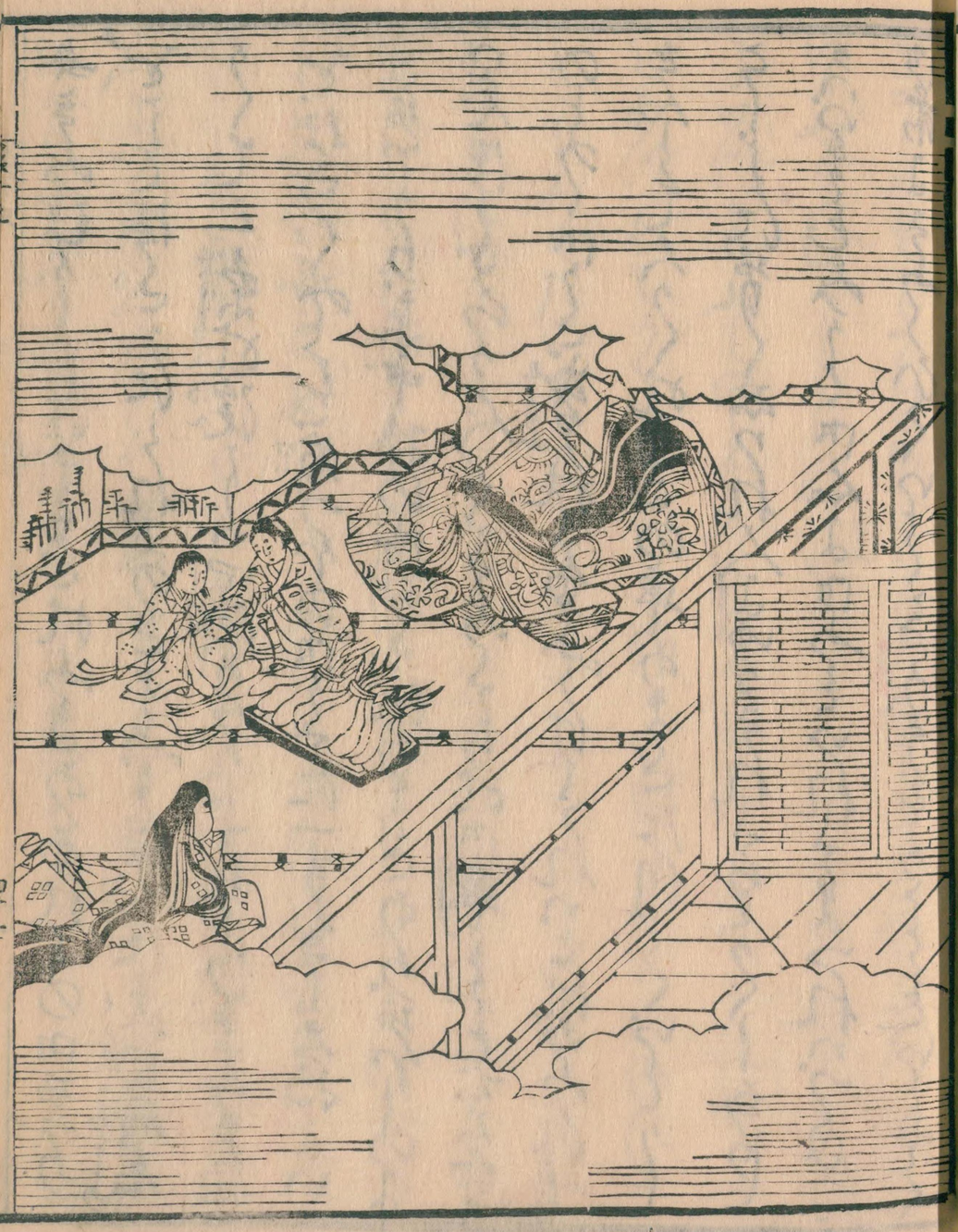
ガラス使用

さらしきよはうしきしせき防いりてミ給へは文あ
ゆきき給ふく。れはもれ出て、いとう且しとぬれ給ふ
とをいきしろはいぬ文ありしそまつり給へ。もそ
あそひ給。ほえふくろなりはてうしてミや給まつり
給とて、きそ給
君のしめこゝろてよもへ祿さつむしつまくふ
為をとゆつく文
たゞもへて御道ほといふは我さめにかりれ出を
志くもろはせはとの給へはもひてまかとくあ我ち
れきミよやまのまつりやくなとほ抱かさりし給。こゝ
はあるはありきちし給へそ涙まつり給ひ。うへ

きちし給して御前に給して抱をれさまわく法
出くとまつり給。ひさしうみて、やしめろうを
まひのかくをまわしかりつるとをミ海ひきまも
せんとそもひしかなどか海つる且さりつらんと一文
をひさしうミ文はむすへは抽しらさぐられ給ふと
の給へは大将いとおもうつるしと申ひくものもそう
し給ふを。ひさしうみてくどしめろつるとする。
みてくゆかりありきをえしもつり。さうつる中より
かもつる所にゆかりて。おひいさつり侍くなんから
うしてまつりてなん。からくもてまつり侍つるとす給
へは下上それはミなひとりあしてこそ抱をうなる

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用



いかてかさやうるうさ夜ゆくぐらうゐよいかくとこ
そ松風ハそれをめゝなん
　　ゆとりぬるよさしもいさやうゐをとすゝしを
とく山の嵐をそやふこれかも君まうれの給つる御
にとりさくたてさうり給へさぬまゝ給みまいとが
わりおやにをり給わをられ君のもとにこよのてな
ゆ給ふごとつもみなさまわりていさちくしてむ
ゆるとん

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

女きみむりしをいまも。これふきあ面れ。ミの御ゆへり
とこそ極さうにこれとのこまふ。ぞくハ。に気四郷殿
りくて三条れ渡りハ四面めつりさらし。ひまつる後
と。おさくみしを。殿づかの御りさに一もなし。大将よい
と御かりり。東中将の御りさにあまさあり。御かりものよ
いえ御とまつる人くきみさられ御車とも右大弁
のとのくにかさ。或事れ。ゆふ。ふけ。されハこれあろひし
きんとそ大かくれをこの車あまさた所とくいとりし
こしぶに御りくおわれ人よゆるされさるまぐくしなりし
かべいまもみかとにかんよ御ふきいれさまへれハづゑよ
御前はさあくひく。いとくきうきうきうことをいとゆく

きうしめを。かさうもこともの抱しぎこれかさにきこ
ゆりやうひりしうら。れ渡よつるそれをさかふくうへ
よい川かくふミのゆりかれりハ。ぞつくてぞよりハ。れさる
とあ川めてかくきんとし侍しとれよ。ふらつゑにお
をしろくなのりしを。ちふまなく侍し。いまかうれ
なやきにつうまつりかくる御車にさふてとりの
抱りしうとひしうなんそれハかうきこそまり御なら
きりぬやふを。あいめんし給ひを。世にハふゆをゆりぬ
やうにそ。無給へハいくきく侍りいるむるれつてる御
人よつき給つりとそ。ゆやをかうし。おさそまつりをん。
刻かきうやうなりれとくハ。御前さうをめしつゝ給

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

のきぬかつらしたら、あるいはしろうさぬ、しろうさぬ、
あるいはしろのしたうさ、ひとしきこれをしたる所にて
きこれより、女御の御うこれ人にまゐりたりしやうを
く車ことにいくなりゝくて、去ぬれ御車
ちはまんだ、其の御ありしよひ、しきくしたり、其の御車
おくれぞ、ゆく、車の大きなる所にしたり、あめなる御車
うしかゆたり、御車そひいざうの御の庵の人のこ
かをとゝあひやしきくしたりしたりしたりて十二人か
いのりうさの御しきこうさの御ゆくしたりしたり
其のうしろ人ところのしきに御うしたり

六位も目あきたるし
目しいはそのうきう
よりあらてめのあき
たるりとの人は侍ふ
いぬはなしとくもあき
そもらましれもしは
上まあらしいて異なる
れ

女御はらる御ハ子れ御ふ人三条の御ちらに
御ましそ手ちり御らる御らし見ろうて子あたり御
車そひ御方のさふくひの人十二人えひそめ御ふて
かきひきてりおりは女人つうまつるゞむたちめた
大とのゝ御ふとも三人源中納言藤中納言右大弁
御ふ大殿御ふうはきさひの気きましめすまき
とくゝつうまつらん既ア四のミぞうはふくたりさ御
らぬ殿上人ハ四位ハ四位なれなし六位もめ河ふる
ハなし（なきし 青）ミやゆちしませハぐらん人とも気乃御車にてて
ゆつりそちりさなうしつうまつりなふ御ふ御
御のまつりはめ御とこ人たまへとゆきまつらせまかりしう
御ゆせとまうて給ひんかはうしたしうる人まれハ三殿
里給ぬ一の人ハまひ（ま）ひ給ふ人ハ御めのと三人そ
まうれきみかくていて給人ハみな人むまれ（こ）ぬりぬ
（次 方 司）おでいし二人と紙こなひつて女御のきみの御車れ
つれりハミうしあ殿人（の）ハまひさなうしたりそれつ
きまはまろ川のおうしくのまとまと女御恵御方の
人ハまひのおりまてしそけるゝ気たちの御めれと
のいふやうおなしれりしれむまれ給ひ川なれなし
ミやまつうまつまといふなる人の一れくまよのる
らん我しいかなれハ気のゆさめみるん（ら 青）屋うとのお

六十三

は
30
17

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

宇津保物語

懷隆の院 三上

正本國讓下巻 廿六

古本五の巻

今板本十二の巻三

は
30
17

貴

東京圖書館

和書門	和文	別	一〇	十二	三〇
	類	函	架	號	冊

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

國ゆはまてしけし

廿六

東京圖書館藏

故柳原芳徳納本

このよにも上とはまこうり。又あれ女とうの中ねをみて
られはなりより極さまさまをる。いというしくさよ
らるまや。衰源かねわかし法師なりしかはなりし
ましかしらぬめくたかるまし手をれ。うさを
よくよみし彩やとくる海ことはいふかねめつ妻ひと
つゝる海にくねみるたくまうむこれきみをあらはし
給てしんのめくしそそ掛し給ふ。かくりけるさいえ
いへと。志ひかあ給ひきろそ。ゆかあるきや。むまめさ
れはそ志はいりて。おさしうむめるしか山へいるとそ
こそいきぬてしるましか。其のかこ侍志従うるるしん
しはかくなり給めれいかれ君はいまはしたにもなりな

伊東藏書

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

給いけちかりあかさつくし。かれ申かいまうちをみ。大将
のあそんれみに出て。いとましくすやとそびきと
あへいなうさとなりしてしらるなよなれ給。
これあやまりてこゝあらひ心あらは我よこそ見
よ給へいなみたをのうひて。ひかくひ給ひしに
ゑきつまそくいて給ぬ。此車のさうにハ地と大将乃此
車と知きるまへて。此あれきんさうちうとみて。おい
しませいあらにしこに。ゑさゝあるのさうそくしてる物と
をうちひまつて。おかゝり屋くもゆらぬとうく事ぬ。大
将宰相の中将蔵人のかゝ将乃なかれハこれかうた
かしきとおりかして此車と知ありて見
さいさちて。うゑよおりて。いりくゝ給へ。宰相の
中将ゝ御とされたまへ。ゑ付よ子里行むゆき
てかひ給ひしに。うゝを見ゆく屋んことなく。むゆ
ましうへくゝまつり給。四人かえさぬよ。もしらゝ
えくゝられたり。れかしとうんえ。うへよのかりて
ゑ給へハ。此車よすゝ。かりにあたりてしてまつりこぬ
やうよしていまて。しゝくとさしていまゝ。此陣れう
に此の屋んとめくりてゝ給へハ。蔵人のかゝ将乃
ゑうこゝあくゝ。ゑしうとこさうしとよえさ後にけそ
つも

うらよいれなりつ。宰相乃中将の大将ゑ人也
を人れきしさをみくもるにしきあらめ家たち
を此せて。いとようたりつへ名をつる物をとて
ちゞこをしてくいてぬ。かねもをへ里いてゝいぬ。ゞと
めくいつれなくて。みないてこたり。大将見ありせこく。
いとをしとしひこれと。いやまめやかにきしきい
とあしくて。宰相の中将ゐ給へり。うくて又此家をん
正此家の志さを抜まして取ひとよなくく物かたり
して。まろをいかにせよとこく。これ家をハまりてさせ
なる里給画る也。うら法人はりとて家も月ちろを
見給つ。うへもよりらを物りそれどそれをゆも

りて家のまゝをまゐして抜きけ給へるとのまひあり
して。はとめくはくうきてこれはふきの中まで
てまつり給へまろをもよもにうしとしりしぶる人
まにくまれぬ人を家たちにうせりしつるんとの給
へハ。そんしやうの家にしてこそ人にゆくまれて。ひ
とりはゝ侍ま。あ家あるしれや。なるしんなるはひ人
をなにくつみそしてよハあらしそ。どりなくても物
をたにいひそあつれハ人とそ我をいりてとせりひされ
いつまの此ところ人をせりひきて。それにうして一
人ハあるう人の法心をせりつきハ家をもこをくれ
をいましやハ人ハまろ川のことせりへさらしりしぞう

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

そ、それをうて、ゆまつ、ら、ら、ら

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

ゆゑの二字画の注文

なくむ。ゆくしく地れさぬ時ハぬくなりて泪らん世さ
せんと紀こへ給へハ大将もいとよ紀事なりふろしとも
つ称よまつりてこ侍なん。ぐくむきんと地れさんれとよハ。
むろへこゆんをなくんとの給へハ。ゑゑいさやかく地そろしき
ことなれば。まことまこへくもなくぬをおるをこそハいぬ
かりてあそひふをとてそやさくはなゆるいとこそ
え給へハめのとゆ殿なりしれきけひきぬくまうそ給
ぬかくて大宮も地くまくらり給へくよろ川の抱てうし
てなり給。大将いこしうまつらひ給へれハ泪くし屋を
ちんとおふこそいと抱くしまれ。宮ハされハをこし人
へいちりせハおむよまつらせんとおふ抱紙かくて屋

みぬるりやなんとおひしうえ。いとこひしく地れし給
し地を。そまもこそろまく。人のやうに抱し給しハ
ハそれを地れてゆしうり。こそて給りてそなりぬ。
いまハうるむやうんてなり給ぬ屋し。屋こをなくむ
地紀給へとこそて給へハさういみよとそ地れさまつり。
大将こちまくひて。心みよむりひ井給へるこそ。つ山な
まれとそ。泪くしなりれるてくこれまへハ地ちをもなく
めてとし。かくてをこしやをあをみ給へれ也。いとをよ
らなりかくなりもかくまふハみなり給ハをとも今
をこしへとなりてこをハ志りて称へし給へ。こうりへ
のれとれをまつらせしてまつらん。ゆう君ふくこゆんを

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

さかれ院よ。ぎしの給ひせて。さひ（探）ひ（む）ひ（む）せ給ひ給ひせて
給へ。これえうにもまてしりせし。忘さちに。屋（ぐ）つかう
まつらむきん。右大弁もしふ（忘エ）ふさのあそんよ（坊）ハうかう
まつらむ（せ）。右大将の殿（ぐイ）にりハかうしつかうまつらむん
もさく院いとをうあり。あそんハふこうしもるま
をなんや侍。うちれ御ことにおれかうそいとになくつ
うまつりきよ。なふれかうしよ侍とこれ也なし
給へハ。大将されハよなれことにあて給ひむとハ思ひつ
ひ（いう）そ（ん）つうまつらんとまゐらんとぬりけれかくてこれ
こんなす（ん）大将ふことをたさちまつるとさかれ院
れかくしてこれ殿にみるけしそこれ[illegible]
[illegible]
人よハあまりにくる人かれ。ぎさく院こそ。ぎこ（憔）
まひしにくるにこそ侍りれ。ぎいつころ（い）かりくしまひ（病）
やうさ（者）をなんりて侍て。かしちゝ（心）しんらうし（労）侍なりさ
れ院さきく侍ま。三（一九）の内ちんまうれもとにそふくひよ
抱して侍しかハ。そのりしけなく抱して侍しをことな
なまりなく抱きしまいるとよろこひ侍ぎさく
院いこしう侍りあるとかしこ（ちうイ）してちうたいして侍
さかれ院をふこれ殿になんでうまうしいてさせ
てなりれろく給ひせん。院うちまつりせ給て。いまハ
たまつす（ベイ）ぎ（ぎ）ろくりなしなとそまつりせ給へと。いさ

かつてこゝろ[illegible]けしきもなく、いとめやすくて、いなもぬ
へなし源中納言めやすくていりぬ。新中納言いて給ふ
とみかとしたち山こもりはいかくぬて給ふるあり
らむ。そふめつらしきるまなかこれ[illegible]とみとろき
給ふらのこうとめしうして、めしいくしたるなりとれなくは
[illegible]きて[illegible]あらしきてもきめつきなりやを人れあや
しうてもきつかなこれあそんのつゆりるけれ
抽紙なとのこまふむまのこてんたりしぎこれ
まのことをまとふていともまふまかこんとこゝろを[illegible]
信ふ信なり。[illegible]ひそのつきれ

[illegible]
れとはあめまふこくしきをいもらせ給へはれ
りしつく。天下れ志ちらいとつうまつりあへりさ
ちもはふこ[illegible]みこ[illegible]
まりせて[illegible]ぎく[illegible]のみこ[illegible]
きさいたれ二のみこはやまひして[illegible]
ひそふしかりおりす。大殿りられ宮人ぎさいたれ
ふんぎふひ給七れみこ中れ君の[illegible]女[illegible]
それまつり給ひを九れ[illegible]
給ひをさかれ[illegible]のみこは三人なりしうちれはとも
つうまつり給へるを。御おことよみなまいれるを文人

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

さるべき後の猿ぶし

まゝ長をとゝめやとあるを、をさく流いといてくを
じきさせ給へ、かりしあまつらせ給へくの給
わかゝ人にこゝろくるかしまりとさつらふべり
えたぞらいとなけさしこゝろの女御
くらぬとてなあるし彼は長をしなるし様れ
みらぬかしかな、さかれ流
もろともにかひし様のまゝかれくのこれる彼と
こなかかるしなるむとてにかつくをしひくにたり
ぬにとなしに紀行しふて、にあそひさかりて、大将中納言
るとにしやうれと給へ、こゝなくも物の音つくまま
つりあはせて、ぞむのまひしかさくひさかりをむ

なるしこゝろつゝしうそしあはせ給へ、ぞさく
流かしふいと書うある日なりや、いぬの年れ秋なり
しりかいふ所にて、ぬそうまゝくへをさかぬ
所にて、あのうとちかくしらるとも御らりて書う
さりし給りなるこそ、いとにあるく給きれさるの流され
くやさぞまろあらしにしてにしませて、かれあそんのさ
むひさあるあり月、さへ人なるとれこゝろ所にまゝかれ
やとの給へ、こゝろれこゝろしたまひて、ささいれ女は
しいめんし給へり、ささいの女あかりしこや、ひさしうも
ぬにまゝかれ、三条にいかしこれわるなつゝにまゝて
こゝろしまゝにや給へん、こゝろしこゝろしいかもゆくへ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17
ガラス使用

は
30
17

さらそれをそちゆされとみしかとしてこれをもに
いめんとやいたんとそおくめれ此我ぬるみたくめれとに
給ふくてりんさらめ殿上人さにつささふひく
はちくしせくそ久しくなりぬとそうせさを給ふ
へあるやうやあくにとまりなはやとの給ふ。みしつと
をに附なりぬとそ。さたくふしぼ公なくいへんさ
く系給へ。気かくさたくしら人給へとそあ給ふ。
ささいの気より源中納言なりまつりし。女れしをひ
女人ゆうりつり。さくられ女のかそなりあるせれたる
海なごらむしらめ殿上人は給ふ。此の男よりを。

めに。まいの女れさくそく一気。殿上人なりはかそなりん
ら海。りらうの文はらりなしはいうしさしほうりら
れまて。これさくもまてたまふ。人ねはいらしぐれろくそ
れむさ一。ここさらりとむ海一。れじしさらはは
にうしあれなひはたらしなしなり給
ゐんの御のえんの平々
イニアリ
青
こしきさらん

合
は
15
17
特別

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 は-17